

保存期限		永久		決裁指定		次官		委任		決行指定	
受領番		陸軍省受領第		二〇九六四二二號		起元應(課)名		第二十五軍外一部隊		件名	
出納書更保管ノ遺金亡失ニ關スル件		大臣		次官		政務次官		主務局長		主務局長	
受領		昭和		年		月		日		提出	
了結		昭和		年		月		日		受領	
大官		昭和		年		月		日		了結	
主務局長		高級副官		主務副官		主務課員		主務局長		主務局長	
參與官		書記官		審案		筆記者		參與官		書記官	
決行(決裁)後		回覽		課名		課名		課名		課名	
決行(決裁)後		回覽		課名		課名		課名		課名	
決行(決裁)後		回覽		課名		課名		課名		課名	
決行(決裁)後		回覽		課名		課名		課名		課名	

政務次官 回付 決裁前 連帶

決行(決裁)後 回覽 課名

陸軍密案

大塚ヨリ大藏大臣及會計検査院長へ通牒

獨立自動車第五十七大隊外  
四營部隊ノ出納官吏其ノ保管ニ屬スル現  
金ヲ亡失シタルニ付別紙ノ通及通牒候也

陸軍密第一七〇三號

昭和拾七年五月廿壹日



獨立自動車第五十七大隊亡失金調書

一 出納官吏ノ所屬官氏名

第二十五軍經理部分任資金前渡官吏陸軍志計少佐村上倫三郎所屬  
獨立自動車第五十七大隊分任官陸軍志計中尉藤原初喜

二 被害ノ日時及場所

昭和十七年二月十二日十一時五十分

南島 南島一ツキタマ 東南方約五百米 丁字路

三 被害ノ原因タル事實ノ狀況

自動車第五十七大隊第一中隊ハ大隊本部行李車ヲ併セ稍後進シ南島一ツキタマ附近ニ進出セル師團各部隊ヘ彈藥交付ノ爲前記地點ニ前進セシ際敵出廻セルヲ以テ之ヲ攻撃中突如猛烈ナル火砲ノ集中射撃ヲ受ケ四車輛(第二輛目ノ車輛ニ金櫃積載)ニ直撃彈命中シ忽チ猛火ニ包マレ彈藥ハ自爆ヲ開始シ金櫃ヲ取り出ス爆ナク收容軍資金ハ悉皆自動貨車ト共ニ焼失シ護衛兵四名ハ壯烈ナル

戦死ヲ遂クルニ至レリ

四被害金額

軍票八千七百六拾六圓五拾八錢也

五被害事實發見ノ動機

出納官吏ハ大隊長ニ隨行師團司令部へ先行中翌十三日第一中隊長ヨリ前記事實ノ通報並行李長ヨリ金櫃(金屬製)ヲ受領シ被害ノ事實ヲ發見ス

六平素ニ於ケル現金管守ノ方法

現金ハ金櫃ニ收藏シ金櫃管守規程ニ依リ常時護衛兵ヲ附シアリ

七責任者ニ對スル處分

當時ノ狀況ニ鑑ミ本件亡失ハ止ムヲ得サリシモノト認メ處分セズ

## 獨立野戰高射砲第二十一中隊亡失金調書

一 出納官更ノ所屬官氏名

第二十五軍經理部分任資金前渡官更陸軍少佐村上幸三郎所屬  
獨立野戰高射砲第二十一中隊分任官陸軍少尉米山尾幾

二 被害ノ日時及場所

日時 昭和十六年十二月八日六時二十分

場所 馬來半島サバク海岸淡路山丸

三 被害ノ原因タル事實ノ狀況

分任官米山少尉ハ所屬中隊ト共ニ輸送船淡路山丸ニ乗船シ倍美支隊長ノ指揮ニ屬シ上陸部隊ノ掩護ニ任シアリタカ十二月八日三時頃ヨリ約一時間半ニ亘リ敵機ノ爆撃ヲ受ケ其ノ敵彈ハガソリニ艦ニ命中シタル爲火災ヲ起シ積載砲彈爆發シ危險迫リタルヲ以テ輸送指揮官ハ全員乗艇ヲ命セリ當時米山少尉ハ高射砲小隊長トシテ對空射撃ニ專念シアリシ處乗艇ノ命ニ接シ部下ト共ニ第五下

甲板ニ進入シ保管シアリタル金櫃ヲ取出サントセシモ既に猛火ニ包マレ近ツクコト能ハス次テ船体沈降シ初メタルヲ以テ海中ニ飛込タリ

四 被害金額

軍票八百八拾六圓四拾壹錢

五 被害事實發見ノ動機

三項記述ノ通り金櫃ハ船体ト共ニ海中ニ沈没セリ

六 平素ニ於ケル現金保管ノ方法

現金ハ金櫃ニ收藏シ陸軍間ハ衛兵司令、行動間ハ行李長ノ區處ヲ以テ護衛兵ヲシテ警守セシメアリ

七 責任者ニ對スル處分

狀況愈々不可抗カニ基クモナルヲ以テ處分セズ

第四十八碇泊場司令部亡失金調書

一 出納官吏ノ所屬官氏名

船舶輸送經理部分任資金前渡官吏陸軍少計大尉松富直市所屬

第四十八碇泊場司令部部分任官陸軍少計中尉深澤鹿一所屬

第四十八碇泊場司令部複分任官陸軍少計中尉森喜知男

二 被害ノ日時及場所

日時 昭和十六年十二月二十三日二十四時頃

場所 英領北ボルネオクチン附近クロス岬東北五哩香取丸

三 被害ノ原因タル事實ノ狀況

昭和十六年十二月二十三日第四十八碇泊場司令部ノ分乗セル輸送船香取丸カ前記被害場所附近ヲ航行中敵魚雷攻撃ヲ受ケ沈没セリ複分任官森少計中尉ハ金櫃ヲ自室ニ保管シアリタルカ雷撃ヲ受ケルヤ船内ハ忽チ暗黒トナリ急速度ニ傾斜ヲ始メ自室ノ扉開放不能トナリ到底金櫃ノ搬出不可能ナルヲ知リ漸ク身ヲ以テ窓ヨリ脱出

ノ上海中ニ飛込漂流中ヲ救助艇ニ救ハレタリ

四 被害金額

軍票四萬圓也

五 被害事實發見ノ動機

衝撃ニ依リ出納官吏直ニ搬出セントセシモ自室ノ扉開放不能トナ  
リ巴ムナク單身船窓ヨリ避難シ海中ニ飛込ミタルニ依リ亡失ス

六 平素ニ於ケル現金管守ノ方法

作戦出動ノ際ハ出納官吏自ラ保管ノ責ニ任ス

七 責任者ニ對スル處分

本件ハ不可抗力ナルヲ以テ處分セス



船舶輸送司令部病院船第六〇班亡失金調書

一 出納官吏ノ所屬官氏名

船舶輸送經理部分任資金前渡官吏陸軍主計中尉山根萬市所屬

船舶輸送司令部部分任官陸軍主計中尉森川辰藏所屬

船舶輸送司令部病院船第六〇班復分任官陸軍衛生曹長橋口清

二 被害ノ日時及場所

日時 昭和十七年一月十日 九時五十五分

場所 海南島三亞沖三〇浬ノ地點

三 被害ノ原因タル事實ノ狀況

當班ハ病院船ハルビン丸ニ乗組シ後送患者收容ノ爲三亞ニ直航中前記場所ニ掛リシ時敵ノ魚雷攻撃ヲ受ケ該船ハ急速ニ沈没セリ出納官吏ハ雷撃ヲ受クルヤ直ニ金櫃保管場所馳付ケタルモ同所ハ接雷部位ニ最も近キ爲凄慘ヲ極メ側壁扉ハ崩壞シ天井ハ落下シ船

備品崩壊散亂シアリ辛ウシテ突入シ漸ク金櫃ヲ發見セル船既ニ破損シ金額ノ大半ハ散亂シアリ其ノ一部ヲ收容セシ頃急激ニ船體傾斜シ再ヒ散亂物等轉落シ危險切迫セルヲ以テ遂ニ止ムナク同所ヲ去リシカ同所ハ忽チ海水申ニ没シ次テ船體沈没ス

四 被害金額

軍票貳百九拾九圓參拾錢

一前渡金五百圓中二百圓七拾錢ヲ收容セリ

五 被害事實發見ノ動機

船體ノ衝撃ニ依リ出納官吏現場へ馳付ケ死力ヲ盡シテ收集シタルニ依ル

六 平素ニ於ケル現金管守ノ方法

現金ハ金櫃ニ收藏シ船内庶務室ニ置キ出納官吏自ラ保管シアリ

七 責任者ニ對スル處分

本件ハ不可抗力ニ基因シ亡失セルモノニ付處分セス

獨立工兵第十四聯隊亡失金調書

一 出納官吏ノ所屬官氏名

船舶輸送經理部分任資金前渡官吏所屬

獨立工兵第十四聯隊分任官陸軍主計中尉道本行男

二 被害ノ日時及場所

日時 昭和十六年十二月八日午前四時五十分

場所 英領馬來サバク沖合淡路山丸

三 被害ノ原因タル事實ノ狀況

前回通牒セル如ク昭和十六年十二月八日輸送船淡路山丸敵機ノ爆

撃ヲ受ケ火災ヲ起シ火廻リ早キ爲遂ニ撤出シ得ヌ焼失セリ

四 被害金額

軍票 參萬四百五拾七圓也

五 被害事實發見ノ動機

出納官吏自ラ保管セシモ敵機ノ爆彈投下ニ依リ淡路山丸火災ヲ生  
シ即時持出ノ責ニ任セシモ持出ノ途中出納官吏負傷セシタメ遂ニ  
淡路山丸ニ於テ焼失セリ

六 平素ニ於ケル現金管守ノ方法

作戦出動ノ際ハ出納官吏自ラ保管シアリタリ

責任者ニ對スル處分

本件ハ不可抗力ニ基クモノナルヲ以テ處分セス

富集經主第三四號

五九四

官金亡失ノ件報告

昭和拾七年四月拾日

第三五軍司令官山下奉文

陸軍大臣東條英機殿

左記部隊ノ官金亡失ニ関シ別紙調査ノ由リ報告又

左記

獨立自動車第五十七大隊  
獨立野戰重射砲第三中隊

陸軍省 17.5.11 監査課

陸軍省 17.5.8 補給課

陸軍省 17.5.10 課長

陸軍省 17.4.25 監査課

陸軍省 17.5.8 監査課

陸軍省 17.4.25 監査課

陸軍省 17.5.8 前主計課

陸軍省 17.5.8 課長

別紙

獨立自動車第五十七大隊前渡資金亡失調書

一 出納官吏、所屬官氏名

第千五章經理部前任資金前渡官吏陸軍少佐村上幸三郎所屬

獨立自動車第五十七大隊分任官 陸軍主計中尉 藤原初喜

二 被害日時及場所

昭和十七年二月十二日 十一時五十分

昭南島、パキテマ東南方約五百米 丁字路

三 被害状況

(輜重混作令第四五號依り)昭南島、パキテマ附近に進出セル第

十師團各部隊ヲ求メテ彈藥交付スル目的ヲ以テ昭和十七年

二月十一日大隊本部ハ輜重兵第十二聯隊長ノ推定ニ基キ師團司

令部ノ位置ヘ向ヒ先行シ第一中隊ハ本部行李車ヲ伴ヒ指揮シ

別紙戰爭要圖、通シ、パキテマ東南方約五百米、丁字路ニ

陸軍

前進之際其南方約五百米高地附近小銃輕機關銃有  
 スル約百五十名ノ敵出現セリ中隊主力ヲ以テ之ヲ攻撃中十一時  
 卒今突如猛烈ナル敵大砲ニ集中射撃ヲ蒙リ四車輛ニ直撃  
 彈命中シ忽チ猛火ニ包マル先頭ヲ第三輛目車輛ニ大隊本  
 部行本車(金櫃積載)ニ同車ヲ積載アリ彈藥ハ自  
 爆ヲ開始シ金櫃ヲ取リ出ス違ナク同金櫃ニ收容シテ軍資金  
 ハ悉皆自動貨車ト共ニ焼失セルモニテ護衛兵四名ハ全員悉  
 ク壯烈ニ戦死ス遂ニ當時ノ状況別紙戰鬪要圖ノ如シ  
 出納官吏ハ大隊長ニ隨行シ師團司令部ヘ向日先行中同日  
 十時十五分、ブキテマ南方約ニ料ノニ。高地。西南側ニ又路附近  
 ニ於テ大隊本部ニ續行シ彈藥輸送中ノ輜重兵第三聯隊  
 第三中隊ト共ニ敵ニ包圍ニ陥リ之ヲ突破スル機ヲ至時三分  
 遂ニ敵大砲ニ爲ニ全自動貨車ハ火災ヲ起シ萬策盡キタルヲ  
 以テ大隊本部ハ聯隊主力ニ合スニ決シ十三時西方ヲ迂回シ友軍

陸軍

第一線内ニ入り翌十三日十時輜重兵第三聯隊本部到着ス  
出納官吏ハ其間終始大隊長ニ隨行シテリタリ

四、被害金額

軍資金 八七六圓五八錢(軍票)

五、被害事實發見ノ動機

十三日金櫃燒失ノ翌日十時出納官吏ハ第一中隊長ヨリ金櫃  
燒失ノ事故及之ニ關スル詳細ヲ通報ヲ受ケ同時ニ大隊本部  
行李長ヨリ燒ケタル金櫃(金屬製)ヲ受領シ被害ノ事實  
ヲ發見セリ

六、平素ニ於ケル現金管守ノ方法

駒木部隊金櫃管守ノ規程ヲ嚴ニ實行シ常時護衛兵  
ヲ附シアリタリ

金櫃ノ外扉上ニ百五十ルニテ(ニ)ト書キテ金櫃ノ事ヲ關係  
者ニ知ラシメ出納官吏ハ寫眞ヲ添付シ置キタリ



七、被害・對する處置

出納官吏ハ師團司令部へ向ヒ先行中ニシテ連絡シガサレシ爲  
金櫃焼失ノ事故發生後(十五日十一時)第一中隊長ヨリ其旨  
通報ヲ受テ、出納官吏ハ直ニ大隊長ニ會シテ金櫃ヲ調  
査セシメ、口録ハ掛リシマニ收容中ノ軍資金ハ完全ニ焼失シ  
事ヲ確認セリ。

八、責任者ニ對スル處置

當時ノ狀況ニ鑑ミ、金櫃焼失ハ止ムヲ得サレシモト認メ處分  
セス

本書ノ通り事實ニ相違ナキコトヲ證明ス

獨自主動車第五十七大隊長 陸軍少佐 駒木 嘉太郎

昭和 年 號 昭和 17 年 2 月 臨時軍事費受拂計算書 部隊及出納官氏名 獨立自動車隊 陸軍少佐 岡本嘉太郎 (馬)

領		收		額		臨時軍事費		支		拂		額		残		
前月迄領收額	本月領收額	移算受	移算拂		計	臨時軍事費	陸軍臨時軍事費	前月迄支拂額	本月支拂額	本月回收額		計				
51,835.91	0				51,835.91	人件費	俸給 旅費 備給 諸手当 臨時家族手当 計					36,993.61	0	36,993.61	14,842.30	
						物件費	需品費 郵便電信費 糧秣費 被服費 兵器費 馬匹費 演習費 患者費 運輸費 築造費 接待費 雜費 軍用鳩諸費 軍用犬諸費 求恤及宣撫費 計						11,966.96	0	11,966.96	17,615.25
29,582.21	0				29,582.21	行支那事案件	判任俸給 行賞取扱費 計									
						一時賜金	退營賜金 死亡賜金 計									
						召集諸費	召集旅費 召集雜費 計									
81,918.12	0				81,918.12	總計		48,960.57	0			48,960.57	32,447.55			

注意 (一) 科目流用ハ前月迄領收額(本月領收ノ分ハ本月領收額)ニ朱墨書スルコト (二) 科目更正ハ前月迄支拂額ノ欄ニ朱墨書スルコト (三) 繰替拂精算補填ハ回收額ニ計上スルコト (其ノ他陣中經理要覽六〇一参照)

本書ト現金出納簿トヲ對照調査スルニ悉皆符合スルコトヲ認明ス 昭和 17 年 2 月 12 日 部隊長官氏名 陸軍少佐 岡本嘉太郎 (馬)  
備考 現金現在高ト帳簿残高ト 8,766 圓 58 相違スル 昭和 17 年 2 月 12 日 中テマ 取關 於テ 軍資金 8,766 圓 58 燒失 シル 因ル

第一中隊新嘉坡西方要塞攻撃戦要圖

(昭和二十一年四月二十日)



火(ニキマ西寸約三料地)

1063

獨立野戰高射砲第三中隊前渡資金亡失調書

石松部隊

陸軍

獨立野戰高射砲第三中隊前渡資金亡失調査書

一、出納官吏、所属官氏名

第五軍經理部分佐資金前渡官吏 陸軍主計少佐村上章三郎所属

獨立野戰高射砲第三中隊分任官 陸軍少尉 米山尾茂(米山)

二、被害日時及場所

日時 昭和十六年十一月八日 六時三十分

場所 舊英領馬來半島マニラ州ダク西北方約六軒海上

三、被害状況

獨立野戰高射砲第三中隊ハ輸送船淡路丸ニ乗船シ歩兵第三三旅團長佗美少將ノ指揮ニ屬ス

昭和十六年十一月八日舊英領馬來半島東北端コタバルニ敵前上陸ヲ命ゼシ宮川作命第一八七號ニ依リ上陸部隊掩護ノ爲對空射撃準備中三時頃約十五機ノ敵機ハ淡路丸ノ上空ニ飛来シシテ以テ當中隊ハ是ニ砲撃ヲ開始シ全力ヲ舉ギ敵機ノ撃墜及之ガ

驅逐ニ努メタリ

其ノ二機ヲ撃墜他ノ大部分ノ敵機ハ逃走セル一部ノ敵ハ執拗ニ喰下リ  
容易ニ後退セズ同船ニ向ヒ敵ハ二時間三十分直リ断續シテ急降下射  
撃ヲ加ヘタル結果遂ニ敵ノ数彈ハ第三船艙ニ積載シテリルガソリン  
缶ニ命中シタル爲船内ニ火ヲ發シ其他ノ各所ニモ逐次飛行機ノ猛  
射ニ依リ火出テ生ズルニ至リ

當時淡路山丸ニハガソリンノ外ニ各種藥砲彈ヲモ積載セシヲ以テ此等  
藥砲彈ヲモ延燒シ船内各所ニ相次ニ爆發ヲ生シ危險刻々乗員  
ノ身邊ニ迫リタルヲ以テ輸送指揮官ノ命令ニ基キ中隊長ハ五時四十分  
頃全員乗艇ヲ命令セリ

分任官米少尉ハ對空戰ニ間高射砲小隊長トシテ射撃ヲ專念ニシ  
アリシ處全員乗艇ノ命令ニ接シ豫テ金櫃ノ危険ヲ慮リ之ヲ第五  
下甲板ニ積ミ込ミタル九一式一號觀測車中ニ收藏シ居タルヲ以テ直ニ  
部下五名ト共ニ同甲板ニ進入シ金櫃ヲ取出セトセシモ觀測車及其ノ

陸軍

前後ハ共ニ猛火ニ包マレテ船首ヨリスルモ船尾ヨリスルモ觀測車ニ近ツク  
 コト能ハス次テ船体モ逐次傾斜且沈降ヲ初メタルヲ以テ兵員ハ船内ニ  
 止マルヲ得ザルニ至タリ鋼索ニ依リ觀測車ノ移動引卸等ヲ試ミタルモ  
 遂ニ金櫃ヲ船内ヨリ取卸ニ成功セス

五時五十分米山少尉以下八乗込ムヘキ舟艇ナク全員海中ニ飛ビ込タル  
 モトス後金櫃ハ觀測車ニ收藏儘船体ト共ニ海中ニ沈没セリ

## 四、被害金額

被害金額ハ調査ノ結果金八百八拾六圓四拾六錢ニテ金額軍票ナリ

2901

船經主第二二八號

前渡資金亡失ノ件報告

昭和十七年四月二十四日

船舶輸送司令官 佐伯文

陸軍大臣 東條英機 殿

左記ノ者取扱ニ係ル前渡資金亡失ニ關シ別紙ノ通り陸軍會計事務  
規程第九十五條ニ據リ報告ス

左記

船舶輸送經理部分任資金前渡官吏

陸軍主計大尉 松富直市 所屬

第四十八艇泊場司令部分任官

1917

昭和十七年四月二十六日

陸軍省 17.5.7

陸軍省 17.4.28

陸軍省 17.5.9

陸軍省 17.5.27

陸軍省 17.5.11

陸軍省 17.5.4

陸軍省 17.5.2



陸軍主計中尉 深 海 鹿 一 所 屬

第四十八砲泊場司令部

複分任官 陸軍主計中尉 森 喜 知 男

船舶輸送經理部分任資金前渡官吏

陸軍主計中尉 山 根 乃 市 所 屬

船舶輸送司令部分任官

陸軍主計中尉 森 川 辰 藏 所 屬

船舶輸送司令部病院船第六〇班

複分任官 陸軍衛生曹長 橋 口 清

亡失金報告書

陸軍

一、七失部隊名並ニ責任者官氏名

ノ第四十八碇泊場司令部

2 陸軍主計中尉 森喜知男

二、被害ノ日時及場所

日時 昭和十六年十二月二十三日二十四時頃

場所 英領「ホルネ」クチン港外「クロス」岬東北

五渥(陸軍輸送船「杏取丸」甲板右舷

第五號室

三、被害ノ原因タル事實ノ状況

昭和十六年十二月十六日第四十八碇泊場司令部ハ

「シリ」附近攻畧ヲ了スヘ十二月二十二日「クチン」

附近攻畧ノ爲主力ハ陸軍輸送船「日蘭丸」一部

ハ「杏取丸」日吉丸ニ乗船シ「シリ」沖ヲ出發シ

二十三日二十二時三十三分第一項ノ被襲場所附近ニ  
 (予定) 船地ヨリ約三哩(來リタル時) 輸送船を取  
 丸ハ敵潜水艦(国籍不明)ノ攻撃ヲ受ケ魚形  
 水雷ニ發命中シシ池浸ニ瀕セリ  
 是ヨリ量表第四十八碇泊場司令部複分佐官陸軍  
 主計中尉森喜知男ハ第四十八碇泊場司令部  
 下チニ支部ノ閑護ニ當リテハ同支部ノ出納官吏  
 トナル予定ナリシタメ十二月十五日第四十八碇泊場  
 司令部分佐官陸軍主計中尉深海虎一ヨリ「外貨  
 表示」軍票四萬圓也ヲ同支部用前渡金トシテ  
 受領シ金櫃代用公行行李(銅製)ニ收藏封印ノ  
 上陸軍輸送船を取丸ハ甲板五號室ニ  
 携行シ自ラ保管シアリタリを取丸留撃セラレタ  
 ル當時森主計中尉ハ自室ニアリタリ雷撃ヲ受

陸軍

クルヤ直チニ避難準備ヲ開始セルモ雷撃直後船  
 内ノ電燈消エ輸送船ハ船尾ヨリ沈没ヲ始メ右ニ  
 約三十度傾斜ス然モ自室ノ扉ノ開放不能ナルヲ  
 知り到底金櫃ノ搬出不可能ト認め漸ク身ヲ以テ  
 船内ノ窓ヨリ避難シ社交室(A甲板サロン)前ニ出デ  
 タルモ廊下ニ通ズル扉モ亦開カズ海水ハ既ニ右舷  
 A甲板ヲ洗フ状態ナリ遂ニ左舷廊下ノ窓硝子  
 ヲ破リ漸クA甲板廊下ニ脱出シ海中ニ飛びシ海  
 中ヲ漂流中ヲ救助艇ニ救ハレ海軍輸送船第二重  
 洋丸ニ避難セリ

香取丸ハA甲板右舷五號室ハ雷撃直後海中ニ没  
 シ香取丸ハ全船體ハ二十四日零時三十分前後、  
 檣及煙突ノシニ残シ沈没セリ

事件ノ發生ハ實ニ瞬間的突發事柄ニシテ前記

事情ニ依リ遂ニ金櫃ヲ搬出スルヲ得ズシテ「外貨  
表示」一單票四萬圓也及金櫃代用公用行李  
壹個ト共ニ之ヲ失セリ

四、被害金額

「外貨表示」一單票四萬圓

五、被害事實發生見、動機

衝擊ニ依リ出納官吏直ニ搬出セントセシモ自室  
ノ扉閉放子能トナリ已ムナク單身船窓ヨリ辟難シ  
海中ニ飛込ニシタルニ依リ亡失ス

六、平素ニ於ケル現金管守法

作戦出勤ノ際ハ出納官吏自ラ保管ノ責ニ任ス

七、本件ハ不可抗カニシテ出納官吏ニ辨償責任ナ  
キモノト認ム

昭和拾七年四月廿三日

船舶輸送司令官 佐伯文郎

# 亡失金報告書



陸軍

一七失部隊名並ニ責任者官氏名

一 船舶輸送司令部病院船第六〇班

二 陸軍衛生曹長 橋口清

二 被害ノ日時及場所

日時 昭和十七年一月十日 九時五十五分

場所 北緯十七度四十分 東經一〇九度十五分

(海南島三亞沖三〇哩ノ地矣)

三 被害ノ原因タル事實ノ情況

當班ハ病院船ハルビン丸ノ乗組トシテ昭和十七年一月

六日佛印西貢ヲ出帆シ三亞ノ後<sup>送</sup>患者收容ノ目的

ヲ以テ一路三亞ニ直航セリ一月十日(海南島沖約三〇

哩附近)ニ掛リシ時敵潜水艦ノ魚雷攻撃ヲ受ケ

一彈ハ右舷三番船艙ニ命中セリ當時自爆ニアリシ

出納官吏陸軍衛生曹長橋口清ハ臭雷命中ヲ  
 感知スルヤ直ニ金櫃保管場所タル庶務室ニ馳付  
 ケタリ然レ共庶務室ハ接雷部位ニ最モ近キ爲其ノ  
 被害ノ狀況最モ凄慘ヲ極メ側壁扉ハ崩壊シ  
 天井ハ落下シ庶務室内ニ立入ルノミニテモ非常ナル困  
 難ヲ極メタルモ敢然突入シタリ當時既ニ室内ハ窓  
 硝子破損シテ床上充滿シ數個ノ書棚机椅子  
 等崩潰散乱シテ堆積セリ凡エル障礙物ヲ排除  
 シ金櫃行李ヲ探求スル中破損物山積シ殊ニ衝  
 撃ノ爲天井ノ一部落下重積シタル中一卒シテ金  
 櫃行李ノ一片ヲ認メタリ之ヲ取出サント努力シタル  
 モ余リノ重積物ニ如何トモナシ得ス當時雷撃  
 ヨリ早ヤ數分經過シ海水上甲板ヲ越エテ船体三十  
 五度ニ傾斜シアリ立位不能トナルモ最後ノ勇ヲ振

陸軍

ヒ匍匐ニテ行李ヲ覗キタルニ鍵ハ切断セラレ行李  
 ハ破損シ金額ノ大半ハ散乱シアリ突嗟ニ散乱セ  
 ル金額ノ一部ヲ保護セシ頃急激ニ船体ノ傾斜  
 増大シ再ヒ散乱物等ヲ轉落破潰激増シ危険非  
 常ニ切迫シ遂ニ止ムヲ得ス保管場所タル庶務  
 室ヲ去ル事ヲ決意ス其ノ間僅カニ一分數十秒  
 橋口清庶務室ヲ去リシ直後同場所ハ忽チ海水中  
 ニ没シ其後一分間餘ニシテ船体ハ艦ヲ上ニ垂直ノ  
 体勢トナリ沈没セリハルビン丸ノ沈没余リニ迅  
 速ニシテ且保管場所ノ破損甚大金櫃行李ハ  
 破潰シ收藏金額ノ大半ハ散乱シ金額ヲ保護  
 スル事ヲ得ス五百圓中貳百圓七拾錢ヲ保護シ  
 庶務室ヲ去ルノ止ムナギニ至レルモノナリ三軍上陸後  
 直チニ隊長ハ前渡資金ノ被害状況報告ヲ十



セリ

四、被害金額武百九拾九圓參拾錢也散セルモノヲ

集シタル金額ニシテ金額庫票ナリ

五、被害事實殆見、動機

船体ノ衝擊ニ依リ出納官吏現場へ馳付ケ死

カラ盡シテ收集シタルニ依ル

六、平素ニ於ケル現金管守法

金櫃行李ニ施錠シ船内庶務室ニ備附付し出納

官吏自ラ監守ニアリ

七、被害ニ対スル處置

船体ハ一分數十秒ノ間ニ沈没為遂ニ甲板上ニ

持テ出シ得ス亡失セシメタリ

八、責任者ニ対スル處置

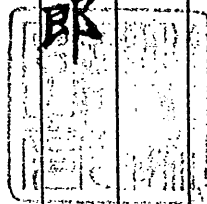
本件ニ関シテハ不可抗力ニシテ出納官吏ニ辨償

1072

責任ナキモノト認ム

昭和拾七年四月廿参日

船舶輸送司令官佐伯文郎



陸軍

# 試算表

昭和17年1月5日
病院衛生第六班
出納使(複分任付)  
陸軍衛生隊長  
橋口 清

借方	科目	貸方
	用品費(一般)	250.00
	雑費(一般)	250.00
	/	
500.00	現金(簿票)	
500.00	合計	500.00

昭和17年1月10日

病院船衛生第六口班臨時金櫃檢査書

借	科目	貸
圓	需品費(一般)	25000
	雜費(一般)	25000
<p>當日於ケル實際現金現在高ハ 貳百圓七拾九圓ニテ 拾銀不足ニナリ</p>		
50000	現金(總)	
50000	合計	50000

昭和十七年一月十日檢査了  
 検査員 陸軍衛生部中尉 笠松 繁雄  
 病院船衛生第六口班長

病院船衛生第六口班 出納官(兼) 複任官  
 陸軍衛生部長 橋本 清  
 (特)



船政第一四八號

1000



陸軍

出納官吏保管ノ現金燒失ノ件報告

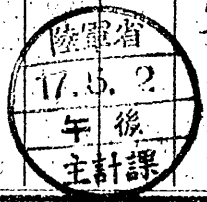
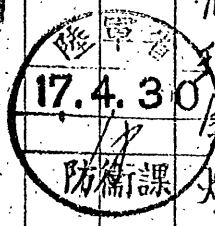
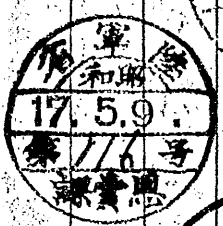
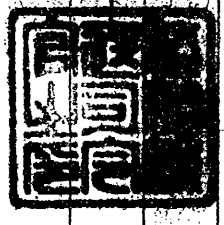
昭和十七年二月一日 船舶輸送司令官佐伯文郎

陸軍大臣 東條英機殿

當部配屬獨立工兵第十四聯隊ニ於テ同隊出納官吏

陸軍主計少尉道本行男保管ニ係ル現金燒失ニ

用シ別紙ノ通報告ス



(廣島在納)

七、失金報告書

一、七失部隊名並ニ責任者官氏名

ノ獨立工兵第十四聯隊

又陸軍主計少尉 道本行男

二、被害ノ自時場所

ノ昭和十六年十二月八日午前四時五十分

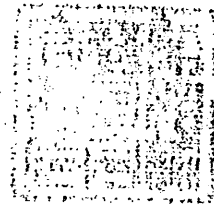
又英領馬來シバク沖合淡路山丸

三、被害ノ原因タル事實ノ狀況

ノ敵第一團ノ上陸ヲ察知スルヤ敵機ノ編隊ヲ数次三度リ掃蕩及上陸  
部隊ニ巨弾ヲ投下シ或ハ機内銃ノ掃射ヲ行フ

又四時五十分頃敵機來セル敵機ノ投下セル爆弾ハ淡路山丸ニ着き  
搭載シタリタル揮發油ニ命中し瞬時ニシテ火災ヲ惹起シ又連日早

キ爆轟ヲ得テ出火し得ズ燒失セリ



四 被害金額

一金 金高四百五拾七圓也

金櫃ニ収蔵シヤリタル金額ハ調査ノ結果 金高四百五拾七圓ニシテ

金額内残額ニナリ

五 被害事實發見ノ動機

出納官吏自ラ保管セシモ 敵賊ノ暴行被下ニ依リ 淺路山九火災ヲ生

即時持出 責ニ任セシモ 持出途中 出納官吏負傷セシタルノ途ニ

淺路山九ニ於テ 燒失セリ

六 平素ニ於テ 現金保管方法

廣東駐留中ノ日本銀行廣東代理店ニ預託

又 作戦出勤ノ際ハ 出納官吏自ラ保管、責ニ任ス

七 被害ノ対処處置

出納官吏ハ 火災發起ト共ニ 速早ク 金櫃ヲ上甲板ニ持出入 爲守

カシタルヲ 捕獲、爲リ 取戻ヲ 辨セ 又 且 甲板上ノ 混雜ノ 爲メ

例ニ於テテ負傷シ海中ニ轉落シ遂ニ之ヲ船外ニ持テ出シ得ス  
燒却セシメタリ

ハ責任者ニ列スル處也

今本件ヲ聞シテハ不可抗力ニシテ出陣官吏ニ辨償責任ナキモノト

認ム

凡 其他必要ナル事項

ハ分任官員傷後送ニ付キ左記ノ通り交代ス

記

免 陸軍主計少尉 道本行男

命 陸軍中尉 古中奉太郎

船舶輸送司令官 佐伯文郎

